

2021 年度第 1 回理事会議事録

2021 年 4 月 24 日（金）17 時 30 分～19 時 30 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

合田寛 齋藤正美（議長） 齊藤壽彦

石田博美 長谷川元彦 小川雅人

理事 10 名中 6 名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

相田利雄代表理事は欠席のため、齋藤正美業務執行理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、小川理事、齊藤壽彦理事を選任した。

[報告事項]

(1)公益目的事業

①刊行物について

齋藤正美理事より『政経研究』の進捗状況が報告された。

合田理事より『政経研究時報』の進捗状況が報告された。

②公開研究会

齋藤壽彦理事より、6 月中旬に甲斐沼美紀子氏を報告者として、「地球温暖化問題に対する国際的取組みと日本」をテーマに公開研究会が開催される事が報告された。

③各種研究会

齋藤壽彦理事より次の通り報告された。

2021 年 4 月 19 日に柳啓明事務局長代行を報告者として、「ネットを活用した研究活動のあり方について」をテーマに、特別所内研究会が行われた。

5 月中旬に定例研究会として環境廃棄物問題研究室研究会、6 月中旬に金融問題研究室・現代経済研究室の合同研究会の開催が予定されている。

④受託事業

特になし。

⑤その他研究委員会から

齋藤壽彦理事より『政経研究時報』を、研究所外部に訴求する媒体として重視することを前提として、予算等を含め現状を調査し、再検討するとの見通しが示された。

齋藤正美理事より、奨励賞選考の進捗状況について報告が行われた。

⑥「まん延防止等重点措置」への対応について

柳事務局長代行より、「緊急事態宣言」と同様の対応をしていることが報告された。

石田理事より、「まん延防止等重点措置」が「緊急事態宣言」へ移行される見通しを踏

まえ、4 月 29 日～5 月 5 日のあいだ、センターを休館する予定が報告された。

その他、ワクチン接種の開始を踏まえて、副作用として発熱が報告されていることから、職員の状況を把握する必要性が示された。

⑦東京大空襲・戦災資料センターの運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

・来館、会費、募金などの状況

・東京外語大学の取材・撮影が講義で使用されたことについて

・空襲・戦災を記録する会全国連絡会議に事務局員の比江島が出席。

・「東京大空襲を語り継ぐつどい」の開催報告について

・センター担当の理事候補について

・施設内の雨漏りの原因と対処について

⑧業務執行報告（定款第 29 条 4 項に基づく）

石田理事より、公益事業Ⅱを範囲として、下記の通り報告が行われた。

・新型コロナウイルスの影響でセンター来館者の激減した。

・感染防止対策を講じながら開館を継続している。その一環として換気機能改善工事を行った。

・「東京大空襲を語り継ぐつどい」をオンラインで開催した。その他にも、オンラインでの企画を始めた。

[審議事項]

議題 1 研究員の採用について

齋藤壽彦理事より、研究委員会は理事会の諮問を受けて、望月穂貴氏の研究員採用の可否についての審議を行い、研究業績などからその資格を満たしていると判断し、採用を決定したとの報告を行った。

理事会は、審議の結果、望月氏を研究員として採用するとの研究委員会の決定について、有効議席 5 名中 5 名の賛成で可決した。

議題 2 『政経研究』編集委員長の改選について

齋藤正美理事より 2021 年度～2022 年度の『政経研究』編集員が次の通り改選されたと報告された。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 青木哲夫 | 主任研究員 |
| 2. 浦田賢治 | 早稲田大学名誉教授 |
| 3. 大石雄爾 | 駒澤大学名誉教授 |
| 4. 坂本 正 | 熊本学園大学名誉教授、同元学長 |
| 5. 齋藤壽彦 | 千葉商科大学名誉教授 |
| 6. 齋藤正美 | 元北見工業大学教授 |
| 7. 佐藤亮治 | 主任研究員 |
| 8. 村上研一 | 中央大学教授 |
| 9. 山口祐二 | 大東文化大学教授 |

次回の2021年度第2回理事会は、5月28日に開催される。

理事会は、編集委員会の改選について、有効議席5名中5名の賛成で可決した。

議題3 研究室再編成について

齋藤正美理事より、研究員の任期を設定し、その更新の申請を研究員が行うとの提案が行われた。

審議の結果、任期を設定し更新申請制度を設けるを行う方針をさしあたり確定し、その細部については、研究員の現状を調査し、制度の位置づけを検討しながら、引き続き議論することについて、有効議席5名中5名の賛成で可決した。

補足：「研究員」と「研究会員」の名称が紛らわしく、「研究員」の辞任と「研究会員」の解約を混同し、研究所の収入に悪影響があると考えられるなど、更新制度を実際に動かすうえでのリスクを検討しておくべきとの指摘がなされた。

議題4 ポスト相田代表理事の体制について

齋藤正美理事より、理事改選の日程について確認が行われた。

理事会は、5名中5名の賛成で日程について可決した。

議題5 GW期間中のセンター閉館について

理事会は、4月29日～5月5日のあいだセンターを休館することについて、有効議席5名中5名の賛成で可決した。

2021年 5月 4日

公益財団法人政治経済研究所

議長 相田 利雄



署名人 小川 雅人



齋藤 壽彦



監事 國吉 昌晴



(議長)



(理事)



(監事)



2021 年度第 2 回理事会議事録

2021 年 5 月 28 日（金）17 時 00 分～19 時 50 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

合田寛 齋藤正美（議長） 齊藤壽彦
石田博美 長谷川元彦 小川雅人 原富悟
理事 10 名中 7 名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 西森亮太 2 名中 2 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

相田利雄代表理事は欠席のため、齋藤正美業務執行理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、原富理事、長谷川理事を選任した。

[報告事項]

(1)公益目的事業

①刊行物について

齋藤正美理事より『政経研究』の進捗状況が報告された。

合田理事より『政経研究時報』の進捗状況が報告された。

②公開研究会

齊藤壽彦理事より、6 月 12 日に甲斐沼美紀子氏を報告者として、「地球温暖化問題に対する国際的取組みと日本」をテーマに公開研究会が開催される事が報告された。

③各種研究会

齊藤壽彦理事より次の通り報告された。

5 月 29 日に環境廃棄物問題研究室研究会の野口邦和氏を報告者とした定例研究会、6 月 21 日に福光寛氏を報告者とした金融問題研究室・現代経済研究室の合同研究会、7 月 5 日に中谷武氏を報告者とした現代経済研究室の研究会、中川雄一郎理事を報告者とした定例研究会が予定されている。

④受託事業

特になし。

⑤その他研究委員会から

柳事務局長代行より、事業の透明性に関する課題について、『政経研究時報』を事例とする報告が行われた。各事業の責任者を明確化し、規程の予算・時間の範囲内で業務が行われるよう、事業の透明化を進める方針が示された。（資料「時報業務の内容・予算に関する報告——全業務の内容・予算の再検討に向けて」）

続いて、齊藤壽彦理事より研究員に現況届の提出を求めることが報告された。研究所に貢献する研究員のあり方、研究所の研究員に対する貢献のあり方を検討することを念頭に、

研究員の状況を調査する。近日常に、返信期限を 2 ヶ月間とする現況届の書式を各研究員へ郵送する。また、科学研究費を運用するための責任ある体制を強化するための取組み（これまで研究委員会の担当者に任されていた役割を組織化する＝倫理委員会の創設など）を再検討することが提言された。

⑥東京大空襲・戦災資料センターの運営報告

石田理事より、資料「2021 年度第 1 回運営委員会（4 月 26 日）議事要約」の内容について報告（今年度の体制・業務分担・年間スケジュール、学芸の最近の動き、受付スタッフの打ち合わせ、海老名香葉子さんへの駐日米国臨時大使のメッセージ、水戸市立博物館とのコラボイベント等）が行われた。

⑦監事監査について

国吉監事と西森監事より監査報告が行われた。会計監査、業務監査ともに事業が適正に運営されていることが認められたと報告された。

[審議事項]

議題 1 公開研究会の開催について

齊藤壽彦理事より、6 月 12 日に甲斐沼美紀子氏を報告者として、2021 年度第 1 回公開研究会を開催するとの提案がなされた。

理事会は、有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

議題 2 2021 年度研究費支給枠の承認について

齊藤壽彦理事より、2021 年度の研究費の配分について提案が行われた。予算の全体額を 80 万円とし、特別プロジェクト研究（年間 20 万円）、プロジェクト研究（10 万円を上限）、個人研究（5 万円を上限）を募集する。また、これらの研究成果が研究所の知名度に資するために採用された研の究担当者に当法人のクレジットを研究成果に積極的に入れるなどを求める方針が示された。

理事会は、有効議席 6 名中 6 名の賛成で 2021 年度研究費支給枠の承認について提案通り可決した。

議題 3 評議員会の開催について

齋藤正美理事より、2021 年 6 月定時評議員会を、2021 年 6 月 17 日（木）17 時～19 時、政治経済研究所 1 階映像・講話室及びオンラインで開催することが提案された。

理事会は、有効議席 6 名中 6 名の賛成でこの提案を可決した。

議題 4 2020 年度 6 月定期提出書類について

議案 1 2020 年度事業報告について

齋藤正美理事より概況、公益事業Ⅰ（『政経研究』奨励賞、研究費配分、科学研究費による研究事業、研究成果の公表と刊行物の配布、調査研究の社会的還元事業、図書の整備、受託事業）、業務管理（会員、理事会、評議員会、研究委員会、組織整備）の内容について報告が行われた。

続いて石田理事より公益事業Ⅱ（調査研究事業、常設展のリニューアルの実施、継承者育成事業、「東京大空襲を語り継ぐつどい」と「夏の特別企画」と定期的なイベントの開催、特別展の開催、学芸員実習の受け入れ、「東京大空襲・戦災資料センター」の発行、運営に関わる状況）の内容について報告が行われた。

理事会は、報告内容を審議した結果、審議中に指摘された誤記などの修正を行った2021年度事業報告書を、有効議席6名中6名の賛成で可決した。

議案2 2020年度決算について

長谷川理事より、2020年度財務諸表について報告が行われ、研究所（公益事業Ⅰ）会計の支出が減少し昨年度よりも収支状況に若干の改善が見られること、内部で蓄えるほどのキャッシュフローは得られていないこと、基本財産のうち定期預金の表現に関する課題があること、ふじみ野市大井の研究所所有地の進捗状況について報告が行われた。

理事会は、有効議席6名中6名の賛成で2020年度決算を可決した。

議案3 監査報告書について

理事会は、報告事項において示された監査報告書について、有効議席6名中6名の賛成で可決した。

議題5 理事候補リストについて

齋藤正美理事より、2021年6月～2023年6月の理事候補について説明が行われ、下記の候補者を評議員会に推薦するとの提案が行われた。

再任の理事：石田博美、合田寛、齋藤壽彦、齋藤正美、中川雄一郎、長谷川元彦

新任の理事：大岡聡、太田三郎、比江島大和、柳啓明

監事（任期継続中）：國吉昌晴、西森亮太

理事会は、有効議席6名中6名の賛成で、上記の候補者を評議員会に推薦することを可決した。

次回の2021年度第3回・第4回理事会は、6月17日に開催される。

2021年 6月 4日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齋藤 正美 

署 名 人 原富 悟 

長谷川元彦 

監 事 國吉 昌晴 

西森 亮太 

(議長)



(理事)





(監事)





2021 年度3回理事会議事録

2021 年 6 月 17 日（木）14 時 30 分～16 時 30 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

相田利雄（議長） 合田寛 齋藤正美 齊藤壽彦
石田博美 長谷川元彦 小川雅人 原富悟 中川雄一郎

理事 10 名中 9 名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

相田利雄代表理事は欠席のため、齋藤正美業務執行理事が議長となり、開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、齊藤壽彦理事を選任した。

[報告事項]

特になし。

[審議事項]

議題 1 評議員会の次第について

議案 1 2021 年 6 月定時評議員会次第

齋藤正美理事は、2021 年 6 月定時評議員会の次第について確認し、理事会に対して審議を求めた。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で、齋藤正美理事が提示する次第を可決した。

次回の理事会は、追って日程を調整する。

2021 年 6 月 21 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 相田 利雄



署名人 齊藤 壽彦



齋藤 正美



監事 國吉 昌晴



（議長）



（理事）



（監事）



2021 年度第 4 回理事会議事録

2021 年 6 月 17 日（木）19 時 00 分～20 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に通時的確な意見表明が相互にできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

中川雄一郎 長谷川元彦 比江島大和 柳啓明 （前代表理事 相田利雄）

理事 10 名中 10 名出席（大岡聡及び中川雄一郎は、Web 会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が決定するまで、相田利雄代表理事が議長を務めた。審議事項の第 1 号議題議案 1「代表理事の選出について」で齊藤壽彦理事が代表理事に選出された後、齊藤壽彦代表理事を議長として会議を進行した。また議長は、議事録署名人として、石田理事、齋藤正美理事を選任した。加えて、本理事会は代表理事の交代を行うため全理事が議事録に実印の押印を行うことを告げた。



[審議事項]

第 1 号議題 理事会の体制について

議案 1 代表理事の選出について

相田議長は、自身が任期満了により代表理事たる資格を喪失し退任しているため、齊藤壽彦を新たに代表理事として選定することにつき審議を求めた。

理事会は審議の結果、齊藤壽彦理事を代表理事に選出することを、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

議案 2 業務執行理事の選出について

齊藤壽彦議長は理事会に対し、業務執行理事の選出について審議するよう求めた。

理事会は、①石田理事を業務執行理事とすることを有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。②齋藤正美理事を業務執行理事とすることを有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

議案 3 その他役員、役職および名誉職の選出について

続いて、齊藤壽彦理事より、当法人の相談役の候補について、任期を 2 年として次の通り提案が行われた。

①相田利雄、②北村実、③小宮昌平、④鶴田満彦

審議の結果、理事会は有効議席 9 名中 9 名の賛成で、上記の候補を可決した。

第 2 号議題 東京大空襲・戦災資料センターの体制

石田理事より、東京大空襲・戦災資料センターの人事について、2021 年 6 月～2023 年 6 月を任期として、次の通り提案が行われた。

①館長、運営委員会 委員長：吉田裕

②副館長、運営委員会 副委員長：大岡聡

③運営委員会 運営委員：石田博美、比江島大和、梶慶一郎、二瓶治代、工藤芳弘
西尾静子、吉川晃

④名誉館長：早乙女勝元

④名誉顧問：海老名香葉子

⑤顧問：高柳新

また、任期を 2020 年 6 月～2021 年 6 月を任期として、次の通り提案が行われた。

①運営委員会 運営委員：早川則男

審議の結果、理事会は上記の人事について、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

第 4 号議題 『政経研究』編集委員長

齊藤壽彦議長は、『政経研究』編集委員長に齋藤正美理事を推薦し、理事会に審議を求めた。

審議の結果、有効議席 9 名中 9 名の賛成で、齋藤正美理事を『政経研究』編集委員長に選任することを可決した。

第 5 号議題 第 5 回『政経経研』奨励賞選考委員長及び選考委員

齊藤壽彦理事より、第 5 回『政経経研』奨励賞選考委員長及び選考委員の人事について下記の通り提案が行われた。

①選考委員長：齋藤正美

②選考委員：浦田賢治、大石雄爾、齊藤壽彦、坂本正

[協議事項]

協議事項 1

齊藤壽彦代表理事は、柳理事を事務局長に推薦した。理事会の全理事は柳理事を事務局長とすることに合意した。

協議事項 2

今後、原則として第 3 金曜日 17 時～に理事会を開催する。
次回理事会については 2021 年 7 月 30 日 17 時～開催する。

以上をもって、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2021 年 6 月 17 日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦

署 名 人 石田 博美

齋藤 正美

出席監事 國吉 昌晴

代表理事 齊藤 壽彦

出席理事 石田 博美

大岡 聡

太田 三郎

合田 寛

齋藤 正美

中川 雄一郎

長谷川 元彦

比江島 大和

柳 啓明

出席監事 國吉 昌晴

(代表理事)

(理事)

(監事)

2021 年度第 5 回理事会議事録

2021 年 7 月 30 日（木）17 時 00 分～20 時 10 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

中川雄一郎 長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 10 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、太田理事、比江島理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.116 の内容、No.117 の進捗状況、編集委員の補充について報告が行われた。

▼ 研究委員会

合田理事より、『政経研究時報』No.24-1 の発送までの見通しと No.24-2 の進捗状況、現代経済研究室研究会（7 月 5 日、中谷武氏）と定例研究会（7 月 19 日、中川雄一郎氏）について報告が行われた。

齊藤壽彦代表理事より、研究員現況届、研究会員勧誘書類等について、研究に関する研究所責任体制（科研費業務に関する役割分担）、HP への『政経研究』『政経研究時報』の内容掲載基準について報告が行われた。

● 公開研究会

審議事項へ。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営委員会

石田理事より、来館状況、センターニュースの発行、体験者とセンターを結ぶ『和・輪・話通信』、夏休み特別企画のオンライン開催予定、第 51 回空襲戦災を記録する会の会合への参加予定、図録の作成および展示の改修、新型コロナウイルス感染症への対応、緊急事態宣言中のガイドライン、二酸化炭素濃度計測器などの機器設置、エレベータの修繕、水害対策について報告が行われた。

● 大井土地問題

長谷川理事より、大島資料に関する鬼島研究員とのやりとり、大井の土地処分の進

捗についての報告（史料整理、費用、氷川神社総代への挨拶や倉庫取り壊しなど今後の予定）、不動産売却の段取りについて報告が行われた。この件について、代表理事・執行理事を中心に別途会議の場が設けられる見通しとなった。

● 75 周年記念事業

柳理事より、75 周年記念事業『政治経済研究所資料集成 I 研究所刊行雑誌総目次（1947 年～1959 年）』の主旨文のアウトラインについて報告が行われた。

● 研究所職員・センター職員業務分担

石田理事・齋藤正美理事より、職員の業務分担表の報告が行われた。

[審議事項]

第 1 号議題 公開研究会の開催について（発議：齊藤壽彦）

議案 1 第 2 回公開研究会

理事会は、2021 年 9 月 4 日（土）14：00～16：00、太田三郎氏を報告者として、「コロナ禍での中小企業の現状と課題——」と題する公開研究会を開催することを、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

第 2 号議題 研究費配分について（発議：齊藤壽彦）

議案 1 予算内で申請通り配分する

理事会は、下記の研究費配分について有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

● 個人研究

▼ 井上祐子（50,000 円）

● プロジェクト研究

▼ 青木哲夫（100,000 円）

▼ 合田寛（60,000 円）

▼ 野口邦和（100,000 円）

▼ 相田利雄（100,000 円）

▼ 小菌崇明（100,000 円）

● 特定研究

▼ 鬼嶋淳（100,000 円）

第 3 号議題 研究員の採用について（発議：齊藤壽彦）

議案 1 太田三郎氏の採用について研究委員会に諮問する

理事会は、太田三郎氏の研究員採用について研究委員会に諮問することを有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

第 4 号議題 学術研究倫理委員会の設置（担当：齊藤壽彦）

議案 1 理事 2 名、評議員 2 名、事務局長 1 名で構成する

理事会は、中川雄一郎理事、太田三郎理事、柳啓明理事・事務局長を学術研究倫理委員に選任することを、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

評議員の担当者については別途検討することとした。

第5号議題 研究所内研究体制の明確化（発議：齊藤壽彦）

議案1 管理責任体制の確認

科学研究費における管理責任体制について、下記の人事を9名中9名の賛成で可決した。なお、事務処理手続きの相談窓口及び物品等の検収員については今後検討する。

- 最高管理責任者：齊藤壽彦代表理事
- 統括管理責任者：齋藤正美業務執行理事
- 不正に係わる情報の通報の窓口：齋藤正美業務執行理事
- 不正防止計画推進担当者：太田三郎理事

第6号議題 理事会体制について（発議：齊藤壽彦）

議案1 理事の役割分担の確認

理事会は、理事の役割分担について下記の通り確認することを、有効議席9名中9名の賛成で可決した。

氏 名	役 割		
齊藤壽彦	代表理事	研究委員会委員長	
齋藤正美	業務執行理事	『政経研究』編集長	
石田博美	業務執行理事	センター事務局	
大岡 聡	センター副館長		
太田三郎	研究委員	学術研究倫理委員	
合田 寛	研究委員	『政経研究時報』担当	
中川雄一郎	研究委員	学術研究倫理委員	コンプライアンス委員
長谷川元彦	財務担当		
比江島大和	センター事務局		
柳 啓明	事務局長	研究委員	学術研究倫理委員

第7号議題 「未来のタスクフォース」について（担当：柳啓明）

議案1 「未来のタスクフォース」を立ち上げる

理事会は、第7号議題を継続審議とすることを有効議席9名中9名の賛成で可決した。

次回理事会については2021年9月17日17時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2021年 8月 7日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 太田 三郎

比江島大和

出席監事 國吉 昌晴



捨印

捨印

(監事)



2021 年度第 1 回臨時理事会議事録

2021 年 8 月 27 日（金）17 時 00 分～18 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 太田三郎 大岡聡 合田寛 齋藤正美

中川雄一郎 長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 10 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

報告事項なし。

[審議事項]

第 1 号議題 法人所有地の売却について

長谷川理事は、法人が所有する埼玉県ふじみ野市大井の土地について、前回理事会以降の経過や不動産査定等の経過を説明し、仲介業者 3 社と理事長の確認のもと、一般媒介契約と締結したことを報告した。さらに、5300 万円の金額で仲介業者を介して、買付の申し出を受けていることの報告を行った。

理事会は、5300 万円で買付の意思表示をしている 5 社の中から買い付け申し出の内容を審査した結果、埼玉県ふじみ野市大井の法人所有地売却に関する売買契約を株式会社飯田産業に対して、土地の瑕疵担保期間を 3 か月から 2 か月に短縮することを前提に、その後の交渉を代表理事に一任しても良いか審議を行った。有効議席 9 名中 9 名の賛成でこれを可決した。

第 2 号議題 東京大空襲・戦災資料センターの休館について

石田理事は、東京都のモニタリング会議の審議の結果等を鑑み、9 月 1 日～9 月 12 日にかけて東京大空襲・戦災資料センター（下記、センター）を休館（来館者の制限）することを提案した。

また、比江島理事は、センターの業務の見通しなどについて説明し、休館した場合の業務内容について説明を行なった。

理事会は、9 月 1 日～12 日まで休館（来館者の制限）することを、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2021 年 9 月 7 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 齋藤正美



柳 啓明



出席監事 國吉 昌晴



(代表理事)

捨印

(理事)



(監事)

捨印



2021 年度第 6 回理事会議事録

2021 年 9 月 12 日（金）17 時 00 分～20 時 10 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

中川雄一郎 長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 10 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、合田理事、長谷川理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.117 の進捗状況について報告が行われた。

▼ 研究委員会

合田理事より、『政経研究時報』No.24-2 と 24-3 の進捗状況について報告が行われた。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営委員会

石田理事より、運営委員会の報告が行なわれた。

● 大井土地問題

長谷川理事より次の通り報告が行なわれた「8 月 27 日の臨時理事会の確認に基づいて、土地の瑕疵担保の期限を 2 か月にすることを申し出て、株式会社飯田産業との契約を 9 月 10 日に行いました。（契約書は資料添付しています）実地測量の予定が 9 月 30 日となりました。引き渡し予定は 11 月 12 日です」

● 75 周年記念事業

柳理事より、75 周年記念事業『政治経済研究所資料集成 I 研究所刊行雑誌総目次（1947 年～1959 年）』の進捗状況について報告が行われた。

[審議事項]

第 1 号議題 時給改定について

理事会は、10 月 1 日より時給を 1041 円とすることを有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

第 2 号議題 収益事業について

長谷川理事より、空室が継続している本駒込のマンションを売却して、収益の確実な物件に買換えを提案した。また、マンションを管理する三井不動産とこの提案を進めるうえで、「専任媒介契約」の締結について、代表理事に権限移譲することについて、理事会に審議を求めた。

審議の結果、理事会は代表理事への権限移譲について、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

第 3 号議題 研究員採用について

理事会は、東洋志氏が研究員として適格か研究委員会に諮問することを、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

第 4 号議題 科研費に対する責任体制について

理事会は、科研費に対する責任体制について、下記の通りの人事を、有効議席 9 名中 9 名の賛成で可決した。

最高管理責任者：齊藤壽彦代表理事

統括管理責任者：齋藤正美業務執行理事

事務処理手続きの相談窓口：（松田真由美主任研究員）

不正に係る情報の通報の窓口：齋藤正美業務執行理事

不正防止計画推進担当者：太田三郎理事

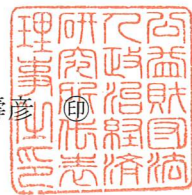
物品等の検収員：（松田真由美主任研究員）

次回理事会については 2021 年 10 月 14 日 17 時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2021 年 9 月 24 日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



署 名 人 合 田 寛



長谷川元彦



出席監事 國吉 昌晴



(理事)



(監事)



2021 年度第 7 回理事会議事録

2021 年 10 月 15 日（金）17 時 00 分～19 時 10 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 9 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田理事、大岡理事を選任した。

〔報告事項〕

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.117 の進捗状況、次号以降の新たな連載テーマの検討に関する報告が行われた。

▼ 研究委員会

合田理事より、『政経研究時報』No.24-2 と 24-3 の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

第 1 号議題で報告・審議される。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、金融問題研究室は 10 月～11 月の間に、研究会を開催予定であるとの報告が行われた。

合田理事より、現代経済研究室は、奥村皓一氏を報告者とする研究会を開催する予定であるとの報告が行われた。

柳理事より、大島社会文化研究室は 2 月～3 月の間に、鬼嶋淳氏を報告者として研究会を開催する予定であるとの報告が行われた。

● 緊急事態宣言解除の対応

柳理事より、緊急事態宣言解除後も出勤制限を継続しているが、今後の出勤形態の方針について、来週金曜日の事務局会議で協議することが報告された。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営委員会

石田理事より、運営委員会の報告、夏企画のアンケートの報告、展示改修の優先順

位に関する報告、戦争災害研究室の再始動などについて報告が行われた。

● 大井土地問題

長谷川理事より、大井土地処分の経過報告（9 月 30 日に測量、11 月 12 日に引き渡し）が行われた。

● 収益事業——本郷本駒込賃貸マンション空室現況調査

長谷川理事より、空室状態の賃貸物件メインステージ本駒込について、齊藤壽彦代表理事とともに管理者の三井不動産リアルティの担当者と現地で相談を行ったことが報告された。担当者の小林恵美子氏は、コロナの状況や家賃、周囲の成約状況等を説明した上で、今後、家賃を下げずに礼金・敷金を調整し、紹介業者への「広告料 1 ヶ月」を設定するなどして様子を見る方針を示した。

● 75 周年記念事業

柳理事より、75 周年記念事業の進捗状況について報告が行われた。

〔審議事項〕

第 1 号議題 2021 年度第 3 回公開研究会について

齊藤壽彦代表理事より、11 月 20 日（土）13 時～16 時に、栗原淑江・吉村知華氏を報告者として、「被爆者の「長い時間をかけた人間の経験」と志を未来につなぐ」と題した公開研究会を、オンライン・オフライン併用で開催するとの提案が行われた。

理事会は、本提案を有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

第 2 号議題 2021 年度『政経研究』奨励賞贈呈式について

齋藤正美理事は、『政経研究』奨励賞の贈呈式を 11 月 30 日（火）に開催することを提案した。

理事会は、本提案を有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

第 3 号議題 研究員の採用について

齊藤壽彦代表理事は、研究委員会において東洋志氏が当法人の研究員として適格であるとの判断をしたことを踏まえ、同氏を研究員として採用するよう提案した。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

第 4 号議題 学術研究倫理委員会委員の選任について

齊藤壽彦代表理事より、理事の齊藤壽彦と太田三郎、評議員の大日方純夫と北村浩、理事兼事務局長の柳啓明の各氏を学術研究倫理委員会委員として選任することが提案された。

理事会は、本提案を有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

その他、防災に関する素案が石田理事より示されたが、別途調整のうえ、再提出することが報告された。

次回理事会については 2021 年 11 月 19 日 17 時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2021 年 10 月 22 日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



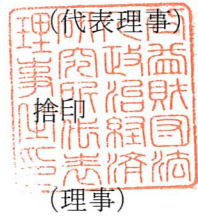
署 名 人 石田博美



大岡 聡



出席監事 國吉 昌晴



(監事)



2021 年度第 8 回理事会議事録

2021 年 11 月 19 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 9 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、太田理事、合田理事を選任した。

〔報告事項〕

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.117 の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、『政経研究時報』No.24-3 の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、11 月 20 日（土）13 時～16 時に、栗原淑江氏・吉村知華氏を報告者として、「被爆者の『長い時間をかけた人間の経験』と志を未来につなぐ」を開催することが報告された。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会が開催予定であるとの報告が行われた。

① 2021 年 12 月 11 日 16 時 30 分～19 時、石塚良次「現代資本主義の貨幣と財政金融制度」、金融問題研究室

② 2022 年 1 月中、奥村皓一「バイデン政権の政策」、現代経済研究室

③ 2022 年 2 月中、枝村圭一郎「中小企業のガバナンスと M&A」、中小企業問題研究室

④ 2022 年 3 月中、小倉将志郎「(タイトル未定)」、現代経済研究室

⑤ 2022 年 3 月中、鬼嶋淳「タイトル未定」、大島社会文化研究室（定例研究会）

● その他研究委員会から

齊藤壽彦代表理事より、下記の件について研究委員会で検討中であるとの報告が行われた。

①東京中小企業企業問題研究室のあり方

②『政経研究時報』発送先の検討

③研究員、主任研究員の採用・昇任規程の策定等

また、『政治経済研究所資料集成 1』の発行は来年度に延期されるとの報告が行われた。

● 財務状況報告

長谷川理事は、財団の財務状況（この 4 年間の推移、収支の状況、貯金残高）、今期の状況（中間報告、前年度比）、大井の土地処分（11 月 11 日決済完了）、大島資料のための予算の検討（次回 12 月 18 日に検討会を開催）、今期の短期的な課題（センターの維持募金・寄付金、研究所の研究会費・維持会費・寄付金、マンションの空室）、長期的な視点での課題の検討について報告した。そのうえで、公益事業Ⅰ・Ⅱがそれぞれ収入の数値目標を設定することについて提案が行われた。

● 大井の大島資料引き継ぎ

柳理事は、2021 年 10 月 29 日（金）に行われた大島資料検討会（出席者：大岡理事、長谷川理事、柳理事、鬼島研究員）の議事について報告を行った。今後の方針として、法人から予算枠を提示し、その中で資料保存のありかたについて、一時的に法人が所有して外の移管先を探すなどの方法を検討する見通しが示された。

● 石田業務執行理事報告

石田理事より、2021 年度 4 月～9 月期の業務執行報告が下記の通り行われた。

①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策（緊急事態宣言・まん延防止等重点措置への対応、文化庁による「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業（補助金）」の申請）

②事業について（夏休み特別企画をオンラインにて 4 日間開催、第 51 回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議東京大会）

③修繕関連（経年劣化に伴う水回りの補修、エレベーターの修繕工事）

● 東京大空襲・戦災資料センター運営委員会

石田理事より、下記の通り報告が行われた。

①来館状況、会費・募金、収益（来館者・入館料の減少、団体予約が増加中）

②学芸の動き（空襲体験の継承事業、資料の寄贈）

③公開研究会（11 月 20 日）

④東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2022

⑤吉田館長によるガイド研修および交流

⑥展示改修

⑦体験者のお話の映像貸し出し

⑧東京大空襲を語り継ぐつどい（2022 年 3 月 6 日、カメラホールにて予定）

● 奨励賞贈呈式次第

齋藤正美理事より、11 月 30 日に開催予定の『政経研究』奨励賞贈呈式の準備状況について報告が行われた。75 周年記念事業については、資料集が完成していないことや、体制を整え直すことを理由に、来年に延期することが決まった。

● 労基署調査報告

石田理事より、2021 年 11 月 16 日に亀戸労働基準監督署にて、行われた労働条件に関する調査（担当官：第四方面主任監督官 齋藤千可土、法人出席者：石田理事、齋藤正美理事）に関する報告が行われた。調査の結果、担当官から概ね管理されているとの評価を受けたが、是正勧告も出された。勧告の内容は、対象となる労働者に対して年次有給休暇を与えること、2022 年 1 月 30 日までに健康診断を行うことである。理事会はこれを受けて、対象となる労働者に働きかける方針を確認した。

[審議事項]

第 1 号議題 一時金の支払いについて

石田理事は、2021 年度の一時金について報告し、合計 1,185,000 円の支出の可否について理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で本提案を可決した。

第 2 号議題 科学研究費処理の内部監査人の交代について

柳理事は、科学研究費処理の内部監査人の人事について審議を求めた。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で、長谷川理事を同内部監査人の担当とすることを可決した。

次回理事会については 2021 年 12 月 17 日 17 時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2021 年 11 月 26 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦

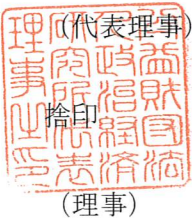


署名人 太田 三郎

合田 寛



出席監事 國吉 昌晴



捨印



(監事)



2021 年度第 9 回理事会議事録

2021 年 12 月 17 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美 中川雄一郎

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 9 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、柳理事、大岡理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.117 が完成した事が報告された。

▼ 政経研究時報

合田理事より、『政経研究時報』No.24-3 の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2021 年 11 月 20 日に開催された公開研究会の開催報告が行われた。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会の開催報告が行われた。

① 2021 年 12 月 11 日 16 時 30 分～19 時、石塚良次「現代資本主義の貨幣と財政金融制度」、金融問題研究室

続いて、下記の研究会が開催予定であるとの報告が行われた。

① 2022 年 1 月中、奥村皓一「バイデン政権の政策」、現代経済研究室

② 2022 年 2 月中、枝村圭一郎「中小企業のガバナンスと M&A」、中小企業問題研究室

③ 2022 年 3 月中、小倉将志郎「(タイトル未定)」、現代経済研究室

④ 2022 年 3 月 1 日、鬼嶋淳「タイトル未定」、大島社会文化研究室（定例研究会）

● その他研究委員会から

齊藤壽彦代表理事より、研究員・主任研究員任用規定について本理事会で審議するとの報告が行われた。

● 大井土地問題

長谷川理事より、下記の件について報告が行われた。

①大井の土地処分に関して 11 月 10 日に飯田産業に対して引き渡し終了。

② 11 月 11 日に敷地内で発見された井戸について、お祓いと埋め戻しが行われた。（費用は 44,000 円）

③ 11 月 19 日、敷地の北の隅で生めたゴミを発見した。廃棄物処理および土の入替えを行う見通し。（費用は 867,900 円）。

④土地の瑕疵担保責任の期間は 1 月 10 日まで。

● 収益物件について

長谷川理事より、目白台マンション 202 号室で水漏れの報告を受け、管理委託している三井不動産リアルティーを通して原因の確認を行ったところ、水道からの水漏れと判明し、水道管改修工事（費用は約 70 万円）を行ったとの報告が行われた。今後、202 号室と、下の階の 101 号室の回復工事がある。保険会社に対応をお願いしている。

続いて、本駒込マンションについて、家賃を引き下げた結果問い合わせが増えていること、同マンションの空き家が 1 つ増えたとの報告が行われた。

● 事業計画書の提出および評議員会までのスケジュール確認と事業計画書の共有

齋藤正美理事は、3 月に開催される定時評議員会で 2022 年度の事業計画書が提出されることを見越し、2021 年度事業計画書を共有した。

柳理事より、2021 年 12 月～2022 年 7 月のスケジュールについて報告が行われた。

● 災害発生への備え

石田理事より、災害発生の責任者の選定、スタッフの安否確認のための連絡方法について報告が行われた。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営委員会

石田理事より、11 月 22 日に行われた 2021 年度第 7 回運営委員会について下記の通り報告が行われた。

①来館者、団体予約が少しずつ増えている。

②継承事業：11 月 18 日の国立市伝承者の講話を学芸員メンバーで見学。

③ガイドボランティア：今後の活動や運営のあり方について再検討中。

④体験者の会：体験者のレンタカーでの送迎を認める。

⑤特別展：開館の前後を振り返るとのテーマで検討中。

⑥ニュース 40 号：20 周年記念の寄稿について。

[審議事項]

第 1 号議題 公益財団法人政治経済研究所研究員・主任研究員任用規定の件

齊藤壽彦代表理事は、「公益財団法人政治経済研究所研究員・主任研究員任用規定」の案について報告を行った。

審議の結果、理事会はこの件について継続審議とすることを、有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

第 2 号議題 太田三郎研究員の主任研究員への昇任させる件

齋藤壽彦代表理事は、太田三郎研究員を主任研究員に昇任させる件について、理事会に審議を求めた。

審議の結果、理事会は有効議席 8 名中 8 名の賛成で、太田研究員の昇任を可決した。

次回理事会については 2022 年 1 月 21 日 17 時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2022 年 1 月 8 日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦



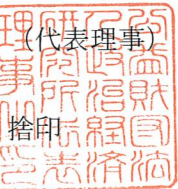
署 名 人 柳 啓明



大岡 聡



出席監事 國吉 昌晴



(代表理事)



(理事)



2021 年度第 10 回理事会議事録

2022 年 1 月 21 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 9 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、柳啓明理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、2022 年 1 月 18 日に開催された編集委員会において、新編集委員の小山吉亮氏が参加したこと、『政経研究』No.118 の進捗状況、新たな連載特集テーマが検討されたこと、新たな編集補助従事者の検討がおこなわれたことについて報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、『政経研究時報』No.24-3 の発送、No24-4 の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

審議事項において報告・審議が行われる。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会が催報予定であると報告が行われた。

① 2022 年 2 月 2 日（水）、小倉将志郎「アメリカ・バイデン政権は何を目指しているのか —『新自由主義からの脱却』かそれとも？—」、現代経済研究室。

② 2022 年 2 月 19 日（土）、枝村圭一郎「中小企業のガバナンスと M&A」、中小企業問題研究室。

③ 2022 年 3 月 1 日、鬼嶋淳「タイトル未定」、大島社会文化研究室。

④ 2022 年 3 月中、奥村皓一「バイデン政権の政策」、現代経済研究室。

● その他研究委員会から

齊藤壽彦代表理事より、研究委員会において、研究員現況届け者への再提出要請、

研究室のありかたについて検討が行われたとの報告があった。

● 大井土地問題・収益物件について

長谷川理事より、下記の件について報告が行われた。

①大井の土地処分に関して 11 月 10 日に飯田産業に対して引き渡し終了。1 月 10 日で土地の瑕疵担保責任が終了。

②目白台マンション 202 号室で水漏の件について次の通り報告された。

工事費用 740,421 円。202 号室 101 号室の回復工事費用 298,100 円を実施。水道管の経年劣化ということで、202 号室分は、保険の対象にならない。101 号室は保険の対象ということで、133,100 円の支払いを受ける。

③本駒込マンションについて次の通り報告された。

家賃の引き下げ後、問い合わせは増えている。フリーレント 1 か月を付けたところ内覧も入ってきている。4 月の新年度に向けた動きが出てる、三井の担当者へは、必要な、連絡を貰うように、念押しをした。

④月島マンションについて次の通り報告された。

2 月途中で解約の予定、内装張替え・鍵の取り換えの準備を進めている。借り手の募集についての、問い合わせは本駒込より多い。

⑤大島資料について次の通り報告された。（長谷川、柳）

・『仮目録Ⅱ』の編集が進行中。

・ふじみ野市教育委員会は、2022 年度の予算で「本目録」の費用を予算化の予定。「本目録」を作り、財産の範囲を確定した上で、処分の仕方を決定する。

・鬼嶋研究員としては、いくつかの案は出ているものの、全部を受け取ってもらうことは難しいという判断をしている。同研究員は、必要な部分を整理する場所と費用の提案をしてほしいという要望を行った。（多摩地域で、6 か月程度（2023 年 3 月から 9 月くらい） 30 坪くらい、床が抜けないような、空き店舗など）

・3 月 1 日の大島社会文化研究所研究会は、「内部者への資料の説明」という方針を転換し、学術的な研究会として開催しながら資料の意義を広く呼びかける方針となった。

● 2022 年度事業計画案について

石田・齋藤正美両業務執行理事により、2021 年度事業計画案（別紙参照）の内容が読み上げられた。基本的には前年度の計画案を踏襲する方針であるが次の点が審議された。

・大規模補修についての記述

・75 周年記念事業の位置づけ

・北砂アカディミアの位置づけ

● 2021 年度労働者過半数代表について

2021 年度の労働者過半数代表について未決のため、今年度内に選出するとの報告が行われた。

● 就業規則等の修正事項について

別紙「就業規則等の修正事項等について」の通り、短時間勤務者就業規則第 18 条（服務心得）第 1 項の削除、第 20 条（服務心得）第 1 項④-5 の削除、休憩時間の表

記については変更しない、常勤勤務者給与規程に賞与について追記する、育児・介護休業規程第 15 条（育児短時間勤務）・第 17 条（育児休業等に関するハラスメントの禁止）第 2 項の変更などについて報告が行われた。

- 東京大空襲・戦災資料センターに関する報告（2021 年 12 月 13 日運営委員会の報告）が下記の通り行われた。
 - ① 11 月来館者は少し多かった。
 - ② 2021 年の購入図書について
 - ③ 聞き取り、体験記・手記の冊子化について
 - ④ 展示図録について
 - ⑤ 特別展について
 - ⑥ 2022 年度の事業計画について。

[審議事項]

第 1 号議題 2021 年度第 4 回公開研究会について

齊藤壽彦代表理事より、2021 年度第 4 回公開研究会を、2022 年 3 月 12 日（土）、16 時 40 分～18 時 40 分、中島真志氏を報告者として、「中銀デジタル通貨とは何か―設計上の論点とインパクト」と題して開催するとの提案が行われた。
審議の結果、理事会は有効議席 8 名中 8 名の賛成で同提案を可決した。

第 2 号議題 公益財団法人政治経済研究所研究員規程について

齊藤壽彦代表理事は、前回理事会の審議に引き続き、修正した研究員規程案を理事会に提出した。
審議の結果、理事会は有効議席 8 名中 8 名の賛成で同規程を可決した。

第 3 号議題 2022 年 3 月定時評議員会の開催について

柳理事は、評議員との調整の結果、2022 年 3 月 17 日 17 時より評議員会が開催可能であると報告し、この日程での検討の可否を審議するよう理事会に求めた。
審議の結果、理事会は有効議席 8 名中 8 名の賛成で同提案を可決した。

次回理事会については 2022 年 2 月 18 日 17 時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2022 年 1 月 27 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦

署名人 齋藤正美

柳 啓明

出席監事 國吉 昌晴

(代表理事)

捨印

(理事)

捨印

捨印

(監事)

捨印

2021 年度第 11 回理事会議事録

2021 年 2 月 18 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長）石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 9 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田理事、長谷川理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.118 の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、24-4 号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2022 年 3 月 12 日（土）16 時 40 分～18 時 40 分に、中島真志氏を報告者として公開研究会が開催されることが報告された。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会が開催予定であると報告が行われた。

① 2022 年 2 月 19 日（土）、枝村圭一郎「中小企業のガバナンスと M&A」、中小企業問題研究室。

② 2022 年 3 月 1 日、鬼嶋淳「大井医院・大島関係資料の意義と展望——地域の残る戦後史資料の可能性を考える」、大島社会文化研究室。

③ 2022 年 3 月中、奥村皓一「バイデン政権の政策」、現代経済研究室。

● その他研究委員会から

齊藤壽彦代表理事より、研究室に関する規程案の進捗状況、研究費割当金募集の期日を早める件、維持会員募集の件について報告が行われた。

● 第三四半期会計報告について

長谷川理事より、「第三四半期：正味財産増減計算書」、「第三四半期：貸借対照表」について報告が行われた。

● 新型コロナウイルス濃厚接触者への対応について

石田理事より、新型コロナウイルス濃厚接触者への対応について「リモートワーク可能な場合には通常通りの給与を支払う」「リモートワークができない業務の場合には休業補償（休業手当として平均賃金の 60% 以上）を支払う」との報告が行われた。

● 理事報酬の扱いについて

石田理事より、理事報酬の支払いについて、年 2 回・12 月と翌年 3 月にまとめて支払うことが報告された。

● 第 3 次まん延防止等重点措置への対応について

柳理事より、「第 3 次まん延防止等重点措置延長への当法人の対応について」の報告が行われた。

● 戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

①入館料が昨年度よりも少なくなる可能性。

②財務状況に関する議論。

③図録の進捗状況。

④特別展の準備状況。

⑤「つどい」をオフラインで開催するための準備状況（コロナ対策）。

⑥事業計画について。

⑦江東区文化コミュニティ財団施設利用者登録更新について。

[審議事項]

第 1 号議題 2022 年度事業計画について

齋藤正美理事より、事業計画のうち「公益事業Ⅰ」「法人組織整備と財政基盤の強化」について報告が行われた。続いて、石田理事より、「公益事業Ⅱ」について報告が行われた。その後、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で 2022 年度事業計画書を可決した。

第 2 号議題 2022 年度予算について

長谷川理事は、2022 年度予算について報告を行った。また、柳理事より公益事業Ⅰの経常収益予算の具体的内容について報告が行われた。その後、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席 8 名中 8 名の賛成で 2022 年度予算を可決した。

第 3 号議題 石橋星志氏の一般研究員採用について

大岡理事と柳理事より、石橋星志氏を一般研究員に推薦するための推薦状及び履歴書・研究業績表が提出され、その内容について報告が行われた。その後、石橋氏が研究員として適格であるか否かの判断を研究委員会に諮問することについて、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席 6 名中 6 名の賛成でこれを可決した。

次回理事会については2022年3月17日15時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2022年 2月25日
公益財団法人政治経済研究所

議 長	齊藤 壽彦	
署 名 人	石田 博美	
	長谷川元彦	
出席監事	國吉 昌晴	

(代表理事)
押印
(理事)

捨印

捨印

(監事)

捨印

2021 年度第 12 回理事会議事録

2021 年 3 月 17 日（金）15 時 00 分～16 時 45 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長）石田博美 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 8 名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、『政経研究』No.118 の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、24-4 号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2022 年 3 月 12 日（土）16 時 40 分～18 時 40 分に、中島真志氏を報告者として公開研究会が開催されたことが報告された。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会が開催予定であると報告が行われた。

① 2022 年 4 月中、奥村皓一「バイデノミックスの新自由主義経済産業政策」、現代経済研究室。

② 2022 年 4 月 16 日、仲間妙子「地方創出 100 年企業の持続可能な企業経営と SDGs」、完全オンライン開催。

● その他研究委員会から

齊藤壽彦代表理事より、新年度の研究所研究費配分申請の時期を 2022 年 3 月～4 月までとすること、研究員で研究会員になっていない者に対して研究会員になるおよう要請することが取り決められたと報告された。

● 学術研究倫理委員会委員・委員長の選出について

齊藤壽彦代表理事より、学術研究倫理委員会の互選により、太田三郎委員を委員長に選出したことが報告された。また、委員は齊藤壽彦代表理事、大日方純夫評議員、

北村浩評議員、柳啓明理事・事務局長とした。

● 紺井評議員の逝去（2021 年 7 月 5 日）について

齊藤壽彦代表理事より、紺井評議員は 2021 年 7 月 5 日に逝去していたことが判明したとの報告が行われた。現在、評議員の登記を変更するため、準備をしている。

● 2022 年度奨励賞選考委員の確定

齋藤正美理事より、『政経研究』第 6 回（2022 年度）奨励賞選考委員が下記の通り確定したと報告が行われた。

浦田賢治	枝村正行	櫛田豊	齊藤壽彦
齋藤正美	坂本正	土井日出夫	

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より、2022 年 3 月 4 日、政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター運営委員会の署名で「ウクライナに対する軍事侵攻の即時中止を求める声明」を発表したとの報告が行われた。

また、今後声明を出す場合、その手続きに関する意見が交換された。

[審議事項]

第 1 号議題 2022 年度奨励賞選考委員長の選定

議案 1 奨励賞選考委員長に理事の齋藤正美を選定する。

齋藤正美理事は、奨励賞選考委員会の互選により自身が選考委員長に選出されたことを受けて、同人事について審議するよう理事会に求めた。

理事会は、有効議席 6 名中 6 名の賛成で、齋藤正美理事を奨励賞選考委員長とすることを可決した。

第 2 号議題 研究室に関する規程について

議案 1 研究室に関する規程を決議する。

齊藤壽彦代表理事は、研究委員会が作成した研究室に関する規程案について報告し、同規程の制定について審議するよう理事会に求めた。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成で、研究室に関する規程案を採用し、研究室に関する規程を制定することを可決した。

第 3 号議題 研究員採用について

議案 1 研究委員の答申に基づいて石橋星志氏を一般研究員に採用する。

柳理事は、石橋星志氏を一般研究員に採用する件について、理事会の諮問を受けた研究委員会が審議を行い、同氏が当法人の一般研究員として適格であると判断したとの報告を行った。そのうえで、石橋氏の研究員採用について審議するよう理事会に求めた。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成で、石橋星志氏を一般研究員に採用することを可決した。

次回理事会については 2022 年 4 月 15 日 17 時～開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2022 年 3 月 24 日
公益財団法人政治経済研究所

議 長 齊藤 壽彦 

署 名 人 齊藤 正美 

柳 啓明 

出席監事 國吉 昌晴 

(代表理事)

(理事)





(監事)

